

2005-2025 20th Anniversary Book

東松島市 20周年 市制施行 記念誌

～ 未来へつなぐ 20年の歩み～



住み続けられ持続・発展する東松島市 ～地方創生のトップラナーを目指す～

東松島市は、宮城県の東部沿岸に位置し、仙台市から北東に約35kmの距離にあり、東は石巻市、西は松島町、北は美里町に接し、南は太平洋に面しています。夏は海風により比較的涼しく、冬は東北地方の中でも比較的温暖で降雪が少ないなど、1年を通じて過ごしやすい気候です。

また、日本三景松島の一 corner「奥松島」及び日本三大溪の一つ「嵯峨溪」を有するとともに、月浜海岸の海水浴場や桜の名所「滝山」など、変化に富んだ美しい自然景観も魅力です。特産品の海苔やカキに加え、農産品の米やネギ、キュウリ、イチゴなどの多彩な食材に恵まれています。航空自衛隊松島基地所属のアクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」も有名です。

2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災では、死者・行方不明者合わせて1,133人に達する甚大な災害となりましたが、国・宮城県からの手厚い財政支援や国内外の皆様からの温かい支援・応援を頂き、「復興のモデル市」を目指して様々な取組を進めた結果、ハード事業の復旧・復興は完了しましたが、引き続き被災者に寄り添う「心の復興」を進めています。

震災からの復旧・復興の成果に加え、2018年(平成30年)6月に被災3県の自治体で唯一の「SDGs未来都市」(全国29自治体)及び2022年(令和4年)6月に宮城県内で唯一、環境省から「第1回脱炭素先行地域」(全国で26か所)に選定されたことを踏まえ、将来に向けた「地方創生」の理念に沿った「住み続けられ持続・発展する東松島市」を目指し、様々な取組をさらに進めてまいります。



東松島市長
渥美 巖

人 □ 2025年(令和7年)1月1日現在

男:18,512人 女:19,363人 計37,875人 世帯数16,747世帯

面積

101.30km²

友好姉妹都市・友好都市 ()内は盟約締結日

北海道更別村(1997年11月9日)、山形県東根市(2011年12月11日)、埼玉県東松山市(2015年11月7日)、東京都大田区(2016年11月12日)、福岡県豊前市(2018年5月8日)、宮城県蔵王町(2022年4月15日)

地方創生に向けた取組



2018年6月 政府はSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた優れた取組を提案した全国29自治体の一つとして「SDGs未来都市」に選定。初年度は宮城県内で唯一選定される



2021年3月 観光庁は全国15地区の一つとして「日本版持続可能な観光ガイドライン」モデル地区に選定。宮城県内では初めて選定される



2022年6月 環境省から「第1回脱炭素先行地域」(全国で26か所)に宮城県内で唯一選定。本市におけるこれまでの取組と将来性が評価された



2022年9月 オランダに事務局がある持続可能な観光地の国際認証団体である「グリーン・デスティネーションズ」が選ぶ、2022年「世界の持続可能な観光地トップ100」に宮城県内で初めて選出。宮城オルレ「奥松島コース」を活用した施策が評価された



2023年10月 スペインに本部がある国連世界観光機関(UN Tourism)が認定する「ベスト・ツーリズム・ビレッジ2023」に、本市の奥松島地域が東北地方で初めて認定



写真で見る

東松島市の20年



2005年
4月

東松島市健康増進センター「ゆぶと」(指定管理者による管理運営施設)がオープン



旧矢本町・旧鳴瀬町の2町合併により東松島市が誕生。両町の特性を融合させた、より良いまちづくりを目指す



2005年
4月

東松島市長選挙で前矢本町議会議長の阿部秀保氏が初当選。また、東松島市議会議員選挙では26人が当選(合併特例法による在任や選挙区の設定に関する特例は適用せず)



2005年
11月

東松島市市制施行記念式典を開催

2006年
2月

東松島市キャラクターを公募し、全国から641点の応募があり、その中から鳥取県の上原順子さん応募の「イト」に決定



2006年
3月



宮戸月浜の小正月行事「えんずのわり」が国の重要無形民俗文化財に指定

2007年
3月



三陸自動車道の鳴瀬奥松島ICと国道45号・県道のスムーズな接続を目指して、鳴瀬川と吉田川に架けられた一般県道河南鳴瀬線「東松島大橋」が完成し、開通式を開催

2007年(平成19年)

2006年(平成18年)

2005年(平成17年)

4月	12月	7月	5月	3月	11月	10月	9月	7月	5月	4月
『心輝き自然輝く東松島』を目指し、東松島市総合計画がスタート	大塩地区に新しい市一般廃棄物最終処分場が完成	『市民協働のまちづくり』の導入を見据え、市内8地区に「市民センター」を設置	任期满了に伴う宮城県議会議員選挙で現職の渥美巖氏が無投票当選(4期)。東松島市としては初めての単独選挙区「東松島選挙区(定数1)」として執行された	野蒜築港120年フォーラムを開催	第1回東松島国際ソーデーマーチを野蒜海岸と宮戸島を中心に開催	北海道更別村と災害時相互応援協定を締結が完成	北海道更別村と友好姉妹都市盟約を締結	第1回東松島市民文化祭を開催(10月22日、11月6日)	第1回東松島市民文化祭を開催(10月22日、11月6日)	第1回東松島市民文化祭を開催(10月22日、11月6日)
矢本西小学校東側を通る主要県道矢本河南線と一般県道石巻工業港矢本線を直結させる「矢本アンダーパス」が開通	初代の東松島市助役に石山賢吉氏、収入役に加藤寛壽氏、教育委員会教育長に佐々木寛氏が就任	市章及び市花に「さくら」、市木に「松」を決定	初代の東松島市助役に石山賢吉氏、収入役に加藤寛壽氏、教育委員会教育長に佐々木寛氏が就任	初代の東松島市助役に石山賢吉氏、収入役に加藤寛壽氏、教育委員会教育長に佐々木寛氏が就任	初代の東松島市助役に石山賢吉氏、収入役に加藤寛壽氏、教育委員会教育長に佐々木寛氏が就任	初代の東松島市助役に石山賢吉氏、収入役に加藤寛壽氏、教育委員会教育長に佐々木寛氏が就任	初代の東松島市助役に石山賢吉氏、収入役に加藤寛壽氏、教育委員会教育長に佐々木寛氏が就任	初代の東松島市助役に石山賢吉氏、収入役に加藤寛壽氏、教育委員会教育長に佐々木寛氏が就任	初代の東松島市助役に石山賢吉氏、収入役に加藤寛壽氏、教育委員会教育長に佐々木寛氏が就任	初代の東松島市助役に石山賢吉氏、収入役に加藤寛壽氏、教育委員会教育長に佐々木寛氏が就任

主な出来事



2008年
7月



矢本横穴墓群の発掘調査で、県内では初めてとなる古銭「和同開珎(わどうかいちん、わどうかいほう)」が出土



2008年
3月

矢本第一中学校新校舎が落成



2009年
7月

予約型乗り合いタクシー「らくらく号」試験運行開始



2010年
10月

新・大塩地区体育館が完成したことを祝い、落成祝賀会が行われる



2009年
4月

「市民協働のまちづくり」が本格的にスタート。市内8地域の地域自治組織がそれぞれの地域の「市民センター」の指定管理者となる

2010年(平成22年)

2009年(平成21年)

2008年(平成20年)

5月	4月	2月	4月	3月	2月	1月	5月	4月	1月
住民の参加率を競うスポーツイベント「チャレンジ」に初めて東松島市が参加。対戦相手の茨城県常陸太田市に惜敗するも、アワード部門「ベストPR賞」を受賞	新・大塩市民センターが完成し利用開始	チリの地震により発生した津波で、宮城県など東北太平洋沿岸に大津波警報が発表。養殖施設を中心に漁業関係で大きな被害を受けたことにより激甚災害指定になる	任期満了に伴う東松島市長選挙で現職の阿部秀保氏が無投票再選(2期)。また、任期満了に伴う東松島市議会議員選挙では22人が当選(議員定数4人減)	漁業者らが研究成果や活動事例を発表する第14回全国青年・女性漁業者交流大会で、最高賞の農林水産大臣賞に矢本漁業協同組合(現 宮城県漁業協同組合矢本支所 矢本浅海漁業研究会)が選ばれる	政府の緊急経済対策となる「定額給付金」子育て応援特別手当の給付事業を行うため、支給事業実施本部を設置し、3月30日から申請受付開始	開館5年目となる蔵しゅくパークの来館者数が10万人を達成。7月には5周年記念蔵しゅく祭りが開催される	家庭ごみの「容器包装プラスチック」の分別収集がスタート。収集されたプラスチックは固形燃料の原料となる	いしのまき農業協同組合東松島カントリーエレベーター「東松島」が大塩地区に完成	奥松島縄文村歴史資料館開館15周年記念縄文村シンポジウムを開催



2010年
10月

東松島市合併5周年を記念した市民まつりが、市コミュニティセンターを会場に開催。市のイメージソング初披露やセンター前に7本の石柱で構成する市民協働のまちづくりによる都市宣言碑の完成を記念した除幕式が行われ、中学生が宣言文を宣誓した



2010年
6月

三陸自動車道矢本PA (上・下線) に無料休憩施設「イートハウス」がオープン



2011年
6月

震災から100日の節目に、東日本大震災東松島市慰霊祭を航空自衛隊松島基地整備格納庫で実施



2011年
3月

東日本大震災の大津波により甚大な被害を受ける (写真上: JR仙石線旧東名駅周辺、写真下: 大曲地区内の北上運河)

東日本大震災と東松島市

2011年(平成23年)3月11日(金)14時46分ごろ、三陸沖を震源として発生した東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9.0)で、東松島市では震度6強を観測。地震によって大規模な津波が発生し、野蒜地区では15時40分ごろに10.35mの高さの津波(第1波)が観測され、東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらしました。

市では、発災と同時に災害対策本部を設置し、救助・捜索活動や避難者の対応に全力を尽くしました。死者1,110人(東松島市民、市外での死者含む)、行方不明者23人【2025年(令和7年)1月現在】。津波による浸水面積は約37km²で、市街地の約65%が浸水し、被災自治体の中で最大です。市内の避難所に多くの市民が避難しました(ピーク時で約15,000人)

市内では、電気・水道は全て使用不能。固定電話・携帯電話も通話不能となり、その回復には、一部地域を除いておおむね1か月を要しました。



2012年(平成24年)

2011年(平成23年)

3月	2月	12月	11月	10月	8月	7月	6月	4月	3月	10月	8月
震災から1年の節目に、東日本大震災東松島市慰霊祭を航空自衛隊松島基地整備格納庫で実施	法テラス東松島が開設。2021年(令和3年)3月の閉所までに様々な法律相談や生活相談などに対応	東松島市復興まちづくり計画を策定	山形県東根市と友好都市提携盟約・災害時相互援助協定を締結	東松島市が政府の新成長戦略に位置付けられた「環境未来都市」に選定される	任期満了に伴う宮城県議会議員選挙(東松島選挙区定数1)で現職の渥美蔵氏が無投票当選(5期)。震災による選挙期日等の延長臨時特例により、本来執行すべき期日から約7か月後に執行された	被災者サポートセンターが開設。市社会福祉協議会が受託運営	被災したJR仙石線の区間のうち、石巻駅〜矢本駅間が運行を再開	東松島市震災復興基本方針を策定	東松島市震災復興旧・復興指針を策定	石巻市と東松島市、女川町との連携強化を掲げた「石巻圏域定住自立圏形成協定」を調印。2022年(令和4年)に再調印	航空自衛隊松島基地所属のアフロバット飛行チーム「ブルーインパルス」が創設50周年を迎えた



2012年
12月

(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとエボニック・デグサ・ジャパン(株)の復興支援により、新しい矢本東保育所が市図書館東隣に完成



震災後、初めて迎える新年において、大曲浜獅子舞が復活。勇壮な舞を披露し、人々を勇気づける



2013年
4月

鳴瀬桜華小学校・鳴瀬未来中学校が開校。鳴瀬桜華小学校の校歌は歌手の中村雅俊さんが作曲、鳴瀬未来中学校の校歌は歌手の加藤登紀子さんが作詞作曲を手がけた



2014年
3月までに
処理完了

震災廃棄物の徹底した分別により、リサイクル率99%を実現した「東松島方式」の震災がれき処理。被災した市民を雇用し、手選別作業などにより処理コストを大幅に削減し、後に被災地における災害廃棄物処理の先行モデル事例となる



2012年
4月

新・東松島市学校給食センター(愛称:ハッピート)が完成し、PFI事業として稼働

2013年(平成25年)

2012年(平成24年)

8月	4月	3月	2月	10月	9月	7月	6月	4月	3月
旧奥松島運動公園(野蒜地区)に奥松島「絆」ソーラーパークが完成	任期満了に伴う東松島市長選挙で現職の阿部秀保氏が無投票再選3期。また任期満了に伴う東松島市議会議員選挙では18人が当選(議員定数4人減)	鳴瀬地区4小・中学校(小野小学校・浜市小学校・鳴瀬第一中学校・鳴瀬第二中学校)を閉校	震災の影響で芦屋基地(福岡県)に一時避難していたブルーインパルスが、航空自衛隊松島基地に帰還	東松島「絆」カーポートソーラー(カーポート型太陽光発電設備)が市コミュニティセンター、鷹来の森運動公園、大塩市民センターの3か所の敷地内に完成	女川原子力発電所からおおむね30km圏内が「緊急時防護措置を準備する区域(OPZ)」に指定されたため、東松島市地域防災計画(原子力災害対策編)を策定	環境未来都市構想の実現へ向け産・学・官・民の連携を橋渡しする一般社団法人東松島みらいとし機構(愛称「HOPE」)が設立	平成24年度環境未来都市フォーラムが市コミュニティセンターを会場に開催	鳴瀬地区小・中学校の統合校開設に向けて、小野小学校と浜市小学校の統合校名を「鳴瀬桜華小学校」に、鳴瀬第一中学校と鳴瀬第二中学校の統合校名を「鳴瀬未来中学校」にする条例案が市議会で可決	被災したJR仙石線の区間のうち、矢本駅～陸前小野駅間が運行を再開
							市内の津波浸水域を中心に「津波防災区域」を指定。同区域内での建築制限の目安となる	社会福祉法人矢本愛育会が運営する矢本西保育園・児童発達支援センター障害児デイクアセンター「こどもの広場」が開所	震災の影響で閉館していた奥松島縄文村歴史資料館が再オープン。開館20周年を迎える



2014年
5月

住民の参加率を競うスポーツイベント「チャレンジデー」が行われ、鹿児島県南さつま市に勝利。2010年(平成22年)の初参加以来、4回目で初勝利となる



2013年
10月

震災により休止していた嵯峨溪遊覧船が「奥松島遊覧船」として再開



2014年
11月

奈良・平安期の矢本横穴墓群から「革帯」と呼ばれる古代の飾り金具付きベルトが出土



2014年
6月

集団移転先7団地のうち、5団地166区画が完成し、宅地引渡し式を開催

2014年
7月



(株)橋本道路と一般社団法人東松島みらいとし機構が連携し、アメリカ海洋大気庁が開発した科学地球儀を日本で初めて展示する施設「ディスカバリーセンター」を小野地区に開設



2015年
5月

震災で被害を受けたJR仙石線陸前小野駅～陸前大塚駅間と野蒜駅・東名駅の駅舎が野蒜北部丘陵の高台へ移転復旧し、全線で運行を再開。記念式典や記念行事を開催

2016年(平成28年)

2015年(平成27年)

2014年(平成26年)

9月	4月	3月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	3月	1月	5月	4月	3月
あおい地区自治会・地区会の発足に併せて、あおい地区まちびらきイベントを開催	宮野森小学校、仮設プレハブ校舎で開校	小野保育所を閉所し、牛網保育所に統合、新・牛網保育所を移転新築	埼玉県東松山市と友好都市提携協約を締結	任期満了に伴う宮城県議会議員選挙(東松島選挙区定数1)で現職の渥美蔵氏が無投票当選(6期)	市内最大の防災集団移転地「あおい地区Ⅱ(東矢本駅北地区)の宅地引き渡し」が全て完了(計画戸数580戸)	東松島市合併10周年記念のサッカーフェスティバルを鷹来の森運動公園で開催	国際協力を通じた地域創生に向け、独立行政法人国際協力機構(JICA)と戦略的合意文書を締結	東松島市健康増進センター「ゆぶと」の施設利用者数が100万人を達成	天皇皇后両陛下(現上皇上皇后陛下)が東松島市を来訪され、震災復興状況を視察	野蒜小学校・宮戸小学校の統合小学校の名称が、両校区内の住民などによる投票で「宮野森小学校」に決定	奥松島観光情報センター(N-mappu)を地域交流施設に改修	津波監視カメラを市内沿岸部4か所に設置し、本格運用開始	市内で最初の災害公営住宅254戸の入居開始にあたって「市営小松南住宅」で災害公営住宅の鍵引渡し式を開催
熊本地震の被災自治体を支援するため、同県西原村に市職員3人を派遣。震災直後の経験から得た行政対応のノウハウを助言												大曲浜保育所を閉所し、大曲保育所に統合	市営小松南住宅で災害公営住宅の鍵引渡し式を開催



2016年
7月

宮戸地区の月浜海水浴場が6年ぶりに本格再開。2013年(平成25年)及び2014年(平成26年)は日曜限定で開設されたが、2015年(平成27年)は復旧工事の関係で海水浴場の開設を見合わせていた



2016年
8月

航空自衛隊松島基地で震災からの復活を伝える「復興感謝イベント」が開催。2010年(平成22年)以来6年ぶりにブルーインパルスやF-2戦闘機の迫力ある展示飛行などを公開。抽選で招待を受けた約1万人が来場

2017年
1月



震災で被災した宮戸小学校と野蒜小学校を統合して2016年(平成28年)4月に誕生した宮野森小学校の新校舎が防災集団移転地である野蒜ヶ丘に完成し、2017年(平成29年)1月から授業開始。同年3月には、学校近隣地に宮野森小学校放課後児童クラブが完成



2015年
11月

東松島市市制施行10周年記念式典を開催

2015年
11月



一般財団法人C.W.ニコル、アファンの森財団(C.W.ニコル理事長)が中心となり、野蒜地区の復興の森に「森と対話する場所(サウンドシェルター)」を整備

2016年
11月



市内最後の防災集団移転団地となる野蒜北部丘陵団地の宅地整備が完了。野蒜市民センターと奥松島観光物産交流センターが同団地内に開所し、「ひがしまつしま福幸(ふっこう)まつり」が開かれた。翌2017年(平成29年)4月には、新・野蒜保育所を開所

2018年(平成30年)

2017年(平成29年)

2016年(平成28年)

1月	12月	11月	10月	5月	4月	11月	10月
鳴瀬未来中学校の新校舎落成式が同校屋内運動場で開かれ、新たな学び舎の完成を生徒など約350人が祝う	宮戸地区で使われていない廃漁港の旧鮫ヶ浦漁港に「水曜日郵便局」が開局。2018年(平成30年)12月までに564通の手紙の交流が行われた	東松島市が、内閣府からデンマーク王国の「復興ありがとうホストタウン」として登録される。震災からの感謝の気持ちを伝え、相互交流を深める	防災集団移転地の野蒜ヶ丘で、「野蒜ヶ丘まちびらきまつり」が開かれ、セレモニーやみこしパレードなどが催された	スポーツイベント「チャレンジデー」が行われ、東松島市は7回目の参加。奈良県広陵町と対戦	任期満了に伴う東松島市長選挙で前宮城県議会議員の渥美厳氏が初当選。また、東松島市議会議員選挙では18人が当選	小松字下浮足地内に「矢本東市民センター」が開所し、「第11回矢本ひがし地区民まつり」も開かれた	震災の津波で被災した旧JR仙石線野蒜駅舎が「東松島市震災復興伝承館」として改修。スタッフが常駐する館内で震災関連の資料や写真パネルを多数展示



2017年
10月

日本との国交樹立150周年を記念して来日したデンマークのフレデリック皇太子(現 国王)が東松島市を訪れる。震災発生直後から多大な復興支援をいただいております。2011年(平成23年)6月に初めて訪問して以来6年ぶりで、当時交流した旧浜市小学校の卒業生と再会



2017年
5月

安倍晋三内閣総理大臣と吉野正芳復興大臣が東松島市を訪問。防災集団移転地の野蒜ケ丘にある宮野森小学校を訪れ、児童たちと交流



2017年
11月

震災により被災された方々への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓を後世に伝承するため、「震災遺構 JR野蒜駅プラットホーム」「震災復興伝承館」「祈念広場」で構成する東松島市東日本大震災復興祈念公園が旧JR仙石線野蒜駅舎一帯に完成



2018年
6月

政府はSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取組を提案した全国29自治体を「SDGs未来都市」として選定。宮城県からは唯一、東松島市が選ばれ、安倍晋三内閣総理大臣から選定証が授与された



2018年
4月

小松地区のイオンタウン矢本内に社会福祉法人タイケン福祉会(法人所在地 埼玉県)が運営する「ウェルネス保育園矢本」が開園。平日午後8時までの夜間延長保育を実施

安倍晋三内閣総理大臣と吉野正芳復興大臣が震災からの復興が進む東松島市を訪問。全国の自治体から派遣された職員を激励



2018年
8月

2019年(令和元年/平成31年)

2月	1月	10月	7月	6月	5月	4月	3月
立沼地区と牛網・浜市地区を結び、災害時は避難道路となる「市道立沼・浜市線」が開通	震災後から交流が続いているデンマークのロラン市から中学生ら約20人が訪問。地元中学生らとホームステイで交流を深める	震災後から交流が続いているデンマークのロラン市から中学生ら約20人が訪問。地元中学生らとホームステイで交流を深める	旧野蒜小学校校舎を改修した防災体験型教育宿泊施設子供未来創造校 K・B・O・T C・H・A(キボッチャ)が全館オープン	大阪府北部地震で被災した大阪府校方市(最大震度6弱)に市職員を派遣し、被災状況の把握・家屋の安全確認などの業務に当たった	福岡県豊前市と友好都市提携協約を締結	震災の津波で局舎が全壊し、防災集団移転地の野蒜ケ丘に移転新築した野蒜郵便局が業務開始。同地区への金融機関の開設は初	震災の津波で庁舎が全壊し、防災集団移転地の野蒜ケ丘に移転新築した東松島消防署鳴瀬出張所が開庁
	国連が採択した「持続可能な開発目標」の達成へ向け、東北地方の3市町が集い「第1回東北SDGs未来都市サミット」を東松島市で開催	学校法人タイケン学園(法人所在地 東京都)と、小野地区の小中2校の校舎を活用して平成32年度の開校を目指す全日制私立高等学校に関する基本協定を締結	学力向上のための授業日数の確保を目的に平成30年度から市内小・中学校の夏季休業期間を4日間短縮	2020東京五輪の事前合宿で東京都大田区を訪れていた男子ハンドボールのブラジル代表選手らが、宮野森小学校に足を運び児童たちと交流	大分県豊前市と友好都市提携協約を締結	震災の津波で局舎が全壊し、防災集団移転地の野蒜ケ丘に移転新築した野蒜郵便局が業務開始。同地区への金融機関の開設は初	震災の津波で庁舎が全壊し、防災集団移転地の野蒜ケ丘に移転新築した東松島消防署鳴瀬出張所が開庁
		震災の津波で堤防が決壊するなどした「二級河川「定川」」の災害復旧工事が完了					



2019年
3月

小学校の敷地内または隣接地にそれぞれ建築した「サルビア放課後児童クラブ(矢本東小学校)」、「さくら放課後児童クラブ(矢本西小学校)」(写真)、「いちご放課後児童クラブ(赤井小学校)」が完成。また、令和2年度から市内の放課後児童クラブの利用終了時間を午後7時までに延長



2018年
10月

韓国発祥のトレッキングで、国内2か所目の認定となった宮城オルレの「奥松島コース」がオープン



2019年
4月

震災で被災し、休園していた県立都市公園矢本海浜緑地が移転開園し、記念セレモニーを開催。県内最大級の計54ホール「矢本海浜緑地パークゴルフ場」(上の写真)が新設されたほか、複合遊具や水遊び広場、バーベキュー広場など親子で楽しめる場(下の写真)が設けられた



2019年
3月

災害公営住宅「市宮柳の目西住宅」100戸の完成をもって、市内17地区1,101戸の災害公営住宅の整備が完了した

2019年
7月



小松地区に移転新築した「矢本西市民センター」の開所式が行われた

2020年(令和2年)

2019年(令和元年/平成31年)

4月	3月	2月	1月	12月	10月	9月	3月
赤井地区に社会福祉法人タイケン福祉会が運営する「ウエルネス保育園赤井」が、同法人が運営する「ウエルネス保育園矢本」に次いで開園。平日午後8時までの夜間延長保育を実施	新型コロナウイルス感染症の流行が拡大している中、県内で唯一感染対策を講じた式典形式の東日本大震災追悼式を実施	「おおぞら放課後児童クラブ(大塩小学校)」が完成	半導体製造装置部品の加工製造などを手掛ける(株)サワ(本社山梨県)の宮城第3工場がひびき工業団地内に完成	「心あつたかイトこる運動」がスタートから10年目を迎える 市議会が大曲浜地区被災市街地復興土地区画整理事業地内の新町名「みそら」を議決	台風19号で堤防決壊など甚大な被害を受けた友好都市埼玉県東松山市に「ブルーシート」や土のうなど支援物資を届ける 任期満了に伴う宮城県議会議員選挙(東松島選挙区定数1)で現職の高橋宗也氏が無投票当選(2期)	「宮城オルレ奥松島コース」が1周年。オルレ発祥の地である韓国からも来賓が出席し、節目を祝ったトレッキングに臨んだ 予約型乗り合いタクシー「らくらく号」の土曜運行が始まる	皇后陛下現上皇后陛下が野蒜地区を題材に詠まれた歌を刻んだ御歌碑の除幕式を、旧JR仙石線野蒜駅舎帯の震災復興祈念公園内で実施



2020年
3月



2020年
3月



ギリシャから東京五輪の聖火を運ぶ特別輸送機「TOKYO2020号」(日本航空と全日空が共同運航)が、国内で最初に航空自衛隊松島基地に着陸した。これに合わせて市内上空をブルーインパルスが飛行し、カラスモークで五輪のシンボルマークと同じ5色の航跡を描く



ギリシャから東京五輪の聖火が本市に到着した日にあわせて、「スポーツ健康都市」を宣言。市役所前では17のスポーツ少年団の代表の子どもたちを交えてセレモニーが行われた



2020年
11月

石巻広域消防本部東松島消防庁舎(東松島消防署)が防衛省補助事業を活用して完成。訓練棟を屋上に配置し、ブルーインパルスをイメージした外観が特徴(消防庁舎延床面積 1,568.78㎡)



2020年
4月

小野地区の鳴瀬未来中学校旧校舎を活用し私立の全日制全寮制の「日本ウェルネス宮城高等学校」が開校

2021年(令和3年)

3月	2月	1月	12月	10月	8月	5月
ひまわり放課後児童クラブ(赤井南小学校)の利用児童急増に伴う棟目の増築が完了 震災の発生から10年の節目となる東日本大震災追悼式を開催 旧宮戸小学校跡地に「宮城県松島自然の家」新本館が完成 野蒜地区と宮戸島を結ぶ主要県道奥松島松島公園線「松ヶ島橋」が新たに完成 観光庁は東松島市を「日本版持続可能な観光ガイドライン」のモデル地区に選定 宮戸地区に自然とのふれあいや学習の場、観光資源としての活用を目的とした「大浜田湿地」の整備が完了	福島県沖地震が発生し、本市では震度5強(福島県内で最大震度6強を観測。避難所を開設) 新型コロナワクチン接種推進室を設置し、ワクチン接種を本格化	航空自衛隊松島基地若松門からJRR仙石線矢本駅を南北に結ぶ市道と県道を「ブルーインパルス通り」と命名 野蒜地区の新たな避難道路として「市道台前・亀岡線」市道東名・新東名線が開通	「第19回みやぎふるさとCM大賞2020」(東日本放送主催)で東松島市が最高賞となる「kbb大賞」を獲得。作品タイトルは「海苔海苔ROCK」 東松島市震災復興伝承館が、展示スペースを拡充しリニューアルオープン	市内の小・中学校連携教育事業として、第1回東松島市「子ども未来サミット」を開催 東松島市震災復興伝承館が、展示スペースを拡充しリニューアルオープン	宮戸地区復興多目的施設「あおみな」にあおみな食堂がオープン 市内の小・中学校連携教育事業として、第1回東松島市「子ども未来サミット」を開催	新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う社会的・経済的な影響に対応する政府の「特別定額給付金」の給付を行うため、給付金交付推進室を設置 大塩・小野地区を縦断する一般県道大塩小野停車場線の上小松地区のバイパス工事が完了し、開通式を実施



2020年
12月

菅義偉内閣総理大臣と平沢勝栄復興大臣が宮戸地区の復興再生多目的施設「あおみな」を視察



2020年
10月

震災の津波で被災し、災害復旧工事を進めてきた「奥松島運動公園」に人工芝の多目的グラウンドや野球場などが完成。12月に完成式典を同体育館で開催



2021年
6月

東京五輪聖火リレーでは、野蒜ヶ丘やあおい地区の防災集団移転団地を走り抜け、震災から復興した被災地の現状を世界に発信



2021年
3月

8世紀ごろの役所・軍事施設跡である赤井官衙遺跡が矢本横穴と併せ、赤井官衙遺跡群として国史跡に指定される



2021年
4月

鳴瀬桜華小学校新校舎が落成し、被災した小中学校の再建が全て完了。また、鳴瀬桜華小学校放課後児童クラブが新校舎隣接地に完成し利用開始

2022年(令和4年)

2021年(令和3年)

4月	3月	2月	12月	10月	8月	7月	6月	4月
令和4年度から全ての市内小・中学校で2学期制がスタート	石巻警察署矢本交番が建て替え完了	福島県沖地震により本市で最大震度6弱を観測。市健康増進センター「ゆぶと」などの公共施設や一般住宅に大きな被害を与える市内で唯一の公立幼稚園「矢本中央幼稚園」を閉園	旧鳴瀬町地域が過疎地域に指定(2021年4月)されたことに伴い、「東松島市過疎地域持続的発展計画」を作成	「第20回みやぎふるさとCM大賞2021」(東日本放送主催)で前年に続き2大会連続の最高賞「kfb大賞」受賞。作品タイトルは「風わたる青の国へ」	奥松島縄文村で東京2020パラリンピック「宮城県の火」を採火。まいぎり式で火起こし	奥松島運動公園マレットゴルフ場がオープン	東松島市食育推進協議会が「第5回食育活動表彰」農林水産大臣賞を受賞	任期満了に伴う東松島市長選挙で現職の渥美蔵氏が無投票再選(2期)。また、東松島市議会議員選挙では18人が当選
令和4年度から全ての市内小・中学校で2学期制がスタート	石巻警察署矢本交番が建て替え完了	福島県沖地震により本市で最大震度6弱を観測。市健康増進センター「ゆぶと」などの公共施設や一般住宅に大きな被害を与える市内で唯一の公立幼稚園「矢本中央幼稚園」を閉園	旧鳴瀬町地域が過疎地域に指定(2021年4月)されたことに伴い、「東松島市過疎地域持続的発展計画」を作成	「第20回みやぎふるさとCM大賞2021」(東日本放送主催)で前年に続き2大会連続の最高賞「kfb大賞」受賞。作品タイトルは「風わたる青の国へ」	奥松島縄文村で東京2020パラリンピック「宮城県の火」を採火。まいぎり式で火起こし	奥松島運動公園マレットゴルフ場がオープン	東松島市食育推進協議会が「第5回食育活動表彰」農林水産大臣賞を受賞	任期満了に伴う東松島市長選挙で現職の渥美蔵氏が無投票再選(2期)。また、東松島市議会議員選挙では18人が当選



2021年
12月

洲崎復興道路(主要県道奥松島松島公園線)が完成。野蒜から松ヶ島橋まで約3kmの道路が防潮堤上に整備され、車窓から美しい海の眺望が楽しめる



2021年
3月

定川復興大橋を含む県都市計画道路「矢本門脇線」が全面開通



赤井南小学校新校舎が落成

2022年
4月



2021年
11月

「復興感謝 第1回東松島市産業祭」を開催し、8千人が来場。5千個の鳴瀬産の蒸しガキを振る舞い、震災からの復興と魅力ある産業をPR



2022年
6月

宮城県内で唯一、東松島市が環境省から「第1回脱炭素先行地域」(全国で26か所)に選定



2023年(令和5年)

- | | | | | | | |
|---|--|--|---|--|---|---|
| <p>4月</p> <p>旧蔵しつパーク内に教育支援センター「ひがまつB.A.S.E」開設。教職員経験者による「学び指導員」や「心のケア相談員」らが、不登校傾向の子どもの学習サポートや居場所づくりに取り組む</p> | <p>3月</p> <p>宮城県の新たな津波浸水想定公表(2022年5月)に伴い、津波ハザードマップを改訂した「東松島市防災マップ」を全戸配布</p> <p>市内全小中学校で英語の「教育課程特例校」認定。令和5年度から小学校1・2年生も年間30時間の英語学習に取り組む</p> | <p>2月</p> <p>(株)ベガタ仙台とGXグリーン・トランスフォーメーション・SDGs推進スポーツ・観光振興を目指す連携協定を締結</p> <p>新・くろまつ放課後児童クラブが大曲小学校敷地内に完成</p> | <p>10月</p> <p>東松島市長杯ビーチテニス2022を野蒜海岸で初開催</p> | <p>9月</p> <p>一般社団法人日本ろう者サッカー協会とスポーツ健康都市具現化・SDGs達成に向けた連携協定を締結</p> | <p>8月</p> <p>東松島夏まつり・松島基地航空祭が新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりに開催。航空祭は感染拡大対策として基地内入場は応募制となり、約2万5千人が来場した</p> <p>世界の持続可能な観光地トップ100に県内で初めて選出。宮城オルレ「奥松島コース」を活用した施策が評価される</p> | <p>7月</p> <p>防衛省補助事業を活用した東松島市コミュニティセンターの大規模改修工事が完了</p> <p>震災後12年ぶりに野蒜海水浴場を開設。宮戸地区の月浜海水浴場も新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの再開</p> <p>東松島市奥松島浮桟橋船舶乗場が完成。海の玄関口として観光振興とにぎわいの創出を図る</p> |
|---|--|--|---|--|---|---|



2023年
3月

東松島市消防団が全国約2,200の消防団の中から、他の模範となる最高の栄誉である特別表彰「まとい」を受章



2023年
4月

矢本海浜緑地パークゴルフ場が、2019年(平成31年)4月開園からの来場者数20万人を達成



2023年
5月

2018年(平成30年)10月に開設した宮城オルレ「奥松島コース」利用者が延べ3万人を達成



2022年
10月

「第1回サンドアートジャパンカップ2022」が野蒜地区で開催され、地域おこし協力隊員で市内在住の保坂俊彦さんが優勝。受賞した作品名は「夢の創造」(左の写真)



2022年
10月

2023年
10月



SDGs(持続可能な開発目標)の理念に沿い、観光を通じて文化遺産の促進や保全、持続可能な開発に取り組んでいる地域を国連世界観光機構(現:国連世界観光機関 UN Tourism)が認定する「ベスト・ツーリズム・ビレッジ 2023」に、本市の奥松島地域が東北地方で初めて認定

2024年(令和6年)

2023年(令和5年)

2月	11月	10月	9月	8月	7月	6月
能登半島地震で被災した自治体を支援するため石川県輪島市と能登町へ市職員を派遣。災害廃棄物処理方法の助言や住家被害認定調査、健康支援業務などに当たった 学校給食や業務用食材加工を手掛けるマルヒ食品(株)の東松島工場がグリーンタウン	台湾・淡蘭古道と宮城オルレが「友情の道」を締結。奥松島コースは淡蘭古道の一部である金字碑古道と連携し、観光客誘致の促進を図る 「第1回東松島市小学生オリンピック競技会」を初開催。市内小学4年生以上約80人が参加	15年ぶりに「縄文シティサミット in ひがしまつしま」を開催。縄文都市連絡協議会を構成する市町村のうち13市町の首長らが参加 任期満了に伴う宮城県議会議員選挙(東松島選挙区 定数1)で現職の高橋宗也氏が無投票当選(3期)	書家 山舘茂さん(上河戸)が近江神宮献書大会において最高賞の文部科学大臣賞受賞 防衛省補助事業を活用した小野市民センターの大規模改修工事が完了	「JFB Tビーチテニスツアー2023」が野蒜海岸で開催。全国ツアーが仙台市以北で開催されたのは初 日産プリンス宮城販売(株)石巻港インター店がオープンし、同産業用地に移転進出した自動車販売会社3社がそろった	県石巻合同庁舎西側にある市が整備した柳の目産業用地に、宮城日野自動車(株)石巻営業所がオープン。7月にはネットトヨタ仙台(株)石巻港インター店がオープン。8月には日産プリンス宮城販売(株)石巻港インター店がオープンし、同産業用地に移転進出した自動車販売会社3社がそろった	



2024年
3月

松島海岸と宮戸島・奥松島浮桟橋を結ぶ定期遊覧船が就航。片道9.3km(所要時間約25分)を毎週日曜日に1往復運航



三陸自動車道矢本PA(上り)隣接地に「道の駅 東松島」がオープン。物販エリアには農産物直売所、ブルーインパルス関連グッズ売り場のほか、2階には飲食コーナーなどが設けられ、新たな観光拠点として期待される。三陸自動車道上り線から直接乗り入れと一般道からの入場もでき、開業初日から、ブルーインパルスファンや新鮮な野菜などを買い求める来客でにぎわう

2024年
11月



2023年
10月

高卒入団の「プロ野球選手」誕生。日本ウェルネス宮城高等学校3年生の大内誠弥さん(赤井南小、矢本二中卒)が東北楽天ゴールデンイーグルスから指名を受ける

2024年
2月



鷹来の森運動公園にスケートボードパークがオープン

2025年
3月



矢本・大曲地区の災害時避難行動要支援者などが速やかに高所に避難できる津波避難タワー(収容人数 約200人)が矢本運動公園敷地内に完成(上は津波避難タワーの完成イメージ、3月25日完成予定)

2025年(令和7年)

4月	1月	12月	11月	9月	7月	6月	5月	4月
市制施行20周年を迎える	防衛省補助事業を活用した新 矢本運動公園体育館が完成	奥松島運動公園多目的グラウンド本部棟が完成	大曲小学校改築工事が着工(2026年3月末完成予定)	予約型乗り合いタクシー「らくらく」の利用者数が40万人を達成	友好都市東京都大田区との子ども交流事業を初実施。市内小学5年生18人が東京都内で本市と所縁のある企業の見学や地元小学生と交流	航空自衛隊松島基地で、米軍の大規模総合演習「ヴァリアントシールド」が行われる	「東松島市地域福祉交流プラザ」が開所。旧矢本中央幼稚園舎を改修し、市社会福祉協議会が運営。分散していた各種生活・福祉相談窓口機能などを集約化	能登半島地震で被災した石川県能登町に市職員1名を長期派遣
防衛省補助事業を活用した市図書館の増築改修工事が完成(予定)					令和6年から市内の海水浴場は月浜のみオープン。野蒜海岸はビーチスポーツの会場などに利用	松島市地域福祉交流プラザが開所。旧矢本中央幼稚園舎を改修し、市社会福祉協議会が運営。分散していた各種生活・福祉相談窓口機能などを集約化	公用車に3種13台の電気自動車などを導入。矢本庁舎・鳴瀬庁舎駐車場に充電設備と太陽光パネルを備えたカーポートを設置	宮城県が東松島市を含む女川原子力発電所からUPZ圏内5市町に対し原子力災害に対する防災力強化を目的に、令和6年度から核燃料税交付金の交付を決定

東松島市民憲章

わたしたちは、縄文の古いにしえから
海と大地の恵にはぐくまれた豊かなくらしと
文化を築き上げた先人の知恵を大切に、
市民の心つどう東松島市をめざして、
この憲章を定めます。

奥松島から連なる豊かな自然を守り

大切に育てるまちにしましょう

ふるさとの歴史と伝統を受け継ぎ

未来に誇れるまちにしましょう

心を合わせ 支え合い

夢あふれるまちにしましょう

2009年(平成21年)1月1日制定



市章



市花「さくら」



市木「松」

写真は「月観の松」(宮城県指定天然記念物)

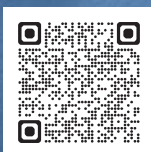
東松島市キャラクター



イーナ



イト



東松島市ホームページ

東松島市市制施行20周年記念誌(「東松島市史」概要版)

発行: 東松島市市制施行20周年記念事業推進本部

制作: 東松島市総務部市史編纂室 2025年(令和7年)4月